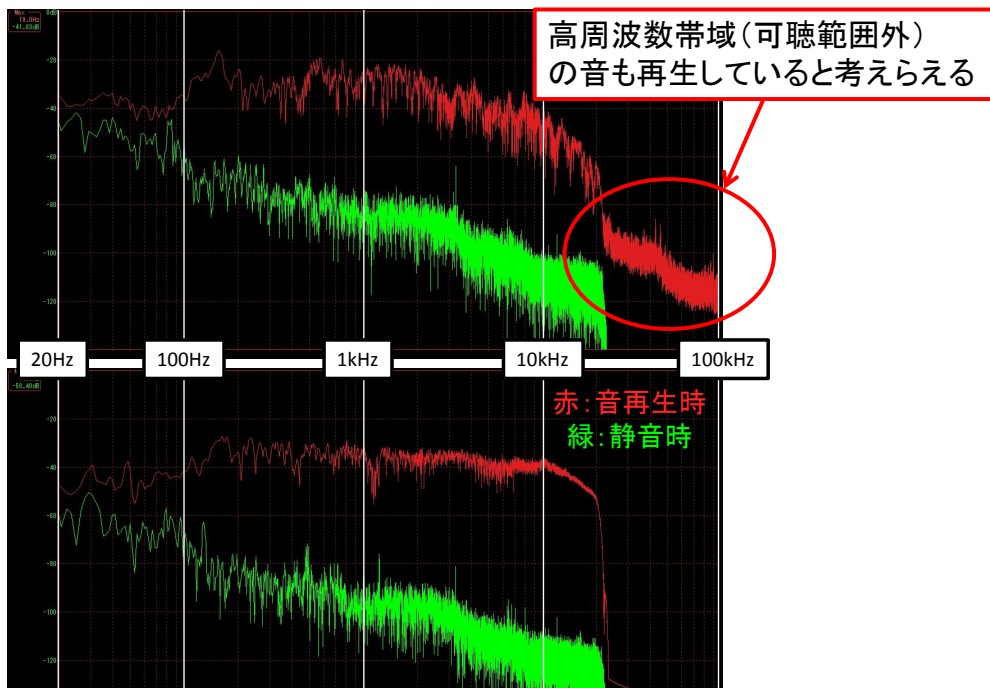


スピーカーの周波数特性(1m)

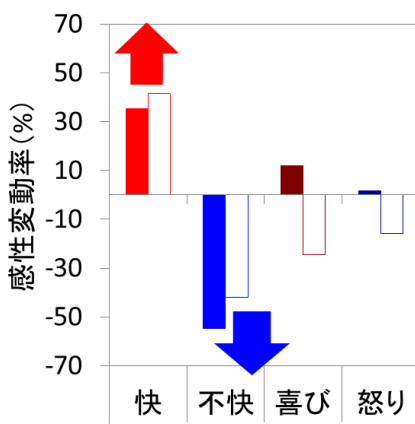
【凜舟】



【従来型 SP】

Copyright 2014 Chaos & Fractals Informatics Lab.

※通常スピーカーでは距離が離れると、特に高域特性が大幅に減衰するのに対し、凜舟ではそれが少ないため、遠達性が良く、小さい音でも聞きやすい。

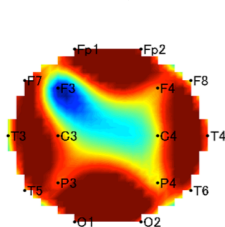


長岡技術科学大学の中川教授による実験では、通常のハイレゾ対応高級スピーカーと比較して、「快」(平安・心地よさ)の感性が35%増加、「不快」(不安・恐れ)の感性が55%減少することが示された。

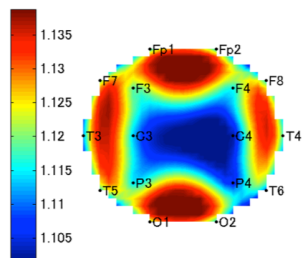
テストには日比野音療研究所が24bit 96kHzで制作したピアノとサックスの生演奏音源を使用。

また対照群として同一の楽曲を同アレンジでコンピューターに演奏させたもので実験を行ったところ、「快」の感性が55%減少、「怒り」の感性が16%増加することが分かった。従って、音による安らぎは、楽曲の善し悪しだけでなく、演奏状況や再生環境にも依存すると考えられる。

凜舟



従来型 SP



更に、被験者の脳のフラクタル指数(脳の活性化の状態)を調べたところ、凜舟では、人間が「快」を感じると活性化するとされている右脳の前頭野が活性化しており、「不快」を感じる時の左脳前頭野が不活性であることが分かった。一方、従来型のスピーカーでは、このような差分が見受けられなかった。この傾向は、かつて聴力を有した聴覚障害者では更に顕著であった。

Copyright 2014 Chaos & Fractals Informatics Lab.

凜舟は、楽曲一再生装置一アンプスピーカーの全てが「心の安らぎ」をテーマに作られ、セットになっているので、ベストな状態でその安らぎを提供する事が可能である。本製品には10時間分の音源ライブラリーが付属し、四半期に一回リクエストを元に、音源のアップデートが行われるという、トータルサウンドケア・システムとなっている。